

K-ふれあいネット

上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町1664-1 TEL 0289-62-7167

地域連携教員研修

8月4日（木）の「上都賀地区地域連携教員等研修会（兼上都賀地区現職教員社会教育主事会第1回研修会）」では、「学校と地域の連携・協働」をテーマに講義、事例発表、グループ協議を行いました。

講義では、文部科学省初等中等教育局より相田康弘専門職にお越しいただき、「地域とともにある学校」への転換の必要性と、今後の学校と地域の協働の在り方などについて、中教審答申をもとにお話しいただきました。事例発表では、「多様な地域人材や資源との連携・協働」について、鹿沼市立北押原小学校教諭村山智彦氏からは、地域の伝統文化を生かした事例を、日光市立東中学校教諭岡良昌氏からは、自治会や地域の力を生かした事例を発表いただきました。どちらの事例も学校と地域が連携する中で、児童生徒が地域に目を向けたり、働きかけたりすることで、連携・協働をより深めていることがわかりました。グループ協議では、「学校の教育課題と地域との連携・協働の活動をつなげてみましょう」をテーマに、参加者が学校や地域の実態に応じて、地域資源を活用した連携・協働の在り方について話し合いました。最後にまとめ講義として、相田氏より、学校と地域がビジョンを共有して連携・協働を進めていくことの必要性や手立てについてお話しいただきました。

【参加者の感想から】

- ・社会に開かれた教育課程の重要性、コミュニティスクールの必要性が分かった。
- ・中教審答申の説明を聞き、さらに地域との連携を深めていく必要性を感じた。
- ・学校が抱える具体的な課題を協議し、改善策を考えられたのがとてもよかった。
- ・事例発表では、各校の取組の様子や地域連携教員としての関わり方がわかり参考となった。
- ・地域とつながることの大切さを改めて確認でき、同じ志をもつ先生方といろいろと話せてよかった。



相田 康弘専門職



人権教育総合推進地域事業（平成26年度～平成28年度）

日光市は、足尾地域にて平成26年度から人権教育総合推進地域事業をすすめてきました。これは、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を、教育委員会との連携・協力の下で推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしたい教育の充実に資する研究を実施するもので、今年で3年目になります。



足尾地区では『自分が好き 人が好き そして、足尾が大好き』というスローガンを掲げ、これまで様々な取組を実施してきました。9月17日（土）には、全盲のシンガーソングライター立木早絵氏による人権ふれあいコンサートを行い、当日は多くの来場者でにぎわいました。講演の中で立木早絵氏は、これまでの経歴・活動歴を紹介しながら「走るのが苦手な人がいるのと同じように私は見るのが苦手なだけ」と、ポジティブな生き方を示してくださり、たくさんの勇気を与えてくださいました。最後は足尾小・中学校の子供たちと「翼をください」を合唱し、感動の幕を閉じました。

また、コンサート終了後には、足尾中学校生徒会による『足尾未来の人権宣言』を行い、人権教育を今後も継続し、自分自身や地域をみんなの力でよりよくしていこうという思いを一つにしました。



「足尾地区のみなさん 私たちの心にさらに素敵な人権の花を咲かせていきましょう！！」



感動のフィナーレ！足尾の子供たちと早絵さんで「翼をください」の合唱！！

上都賀地区PTA指導者研修Ⅰ

本年度の上都賀地区のPTA指導者研修Ⅰは、県下共通テーマを「豊かな心を育てるPTA活動」とし、7月8日（金）日光市中央公民館にて開催いたしました。

全体会は、NPO法人ハロードリーム実行委員会の実行委員長を務める内田圭介氏を講師にお迎えし、「笑顔のコーチング」と題して行いました。また、副題を「PTAが自分たちと子供たちの笑顔のためにできること」とし、「『コーチング』について」「家庭教育における笑顔の大切さ」「笑顔を増やす工夫」などについて、コミュニケーションワークをしながら学ぶ“参加体験型”の研修会といたしました。参加の方々は、ペアになって話し合いをしたり、4人グループで積極的に意見を出し合ったりできました。会が進むごとに、参加の皆様の笑顔が増えていく様子が見られ、講演の価値の高さを感じることができました。

内田氏によれば、「コーチング」では、「ティーチング（教え込み）」とは違い、“指導する側”のコミュニケーションスキルを磨く必要があります。また、“指導する側”が「コーチングマインド」をもつことで、“指導される側”が自分のできることの幅を広げたり、自らの可能性について気付いたりできるということです。参加の皆様の感想からも、この講演会で「コーチング」のエッセンスを十分感じることができたことが分かりました。

さらに、その後行った分散会では、「自分と自分たちの笑顔のために今日からできること」を考え、意見を交流し合いました。また、PTAとしての具体的な行動計画を考え、意見交換することもできました。昨年度寄せられた反省から、分散会の会場分けは、各研修会場に、小中学校・県立学校の関係者が混在するようにしたので、多くの学校種の参加者同士が意見を交流したり、知り合いになったりすることができました。加えて、「自分たちの具体的な行動計画を考えることができたのがよかった」という意見が寄せられ、話し合いの充実ぶりをうかがい知ることもできました。

以下には、参加いただいた方の感想（一部）を紹介します。

- ・自分が子供たちに対して、マイナスなことを言ったり、聞き出したりしていることが多いということに気付いた。これからは、もっと楽しい気持ちになること、明るくなるような話を積極的にしていきたい。
- ・活動する時間、話し合いの時間が多くて、研修の時間があっという間に過ぎた。有意義な研修に感謝したい。
- ・自分が笑顔になった体験を思い出したり、人に話したり、人から聞いたりすることは、それ自体が、人を笑顔にさせる力があるのだということを改めて実感しました。共感回路を意識したコミュニケーションを日頃的生活やPTAの活動の場でも意識していきたいです



活気あふれる会場の様子です。



内田 圭介 実行委員長

研修会の御案内

上都賀地区ふれあい学習ネットワーク

平成29年2月3日（金）午後

鹿沼市民文化センター

※詳細については

上都賀地区親学習プログラム指導者フォローアップ研修

別途お知らせします。

平成29年2月22日（水）午後

日光市中央公民館